



No.395 令和5年3月28日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 広瀬安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



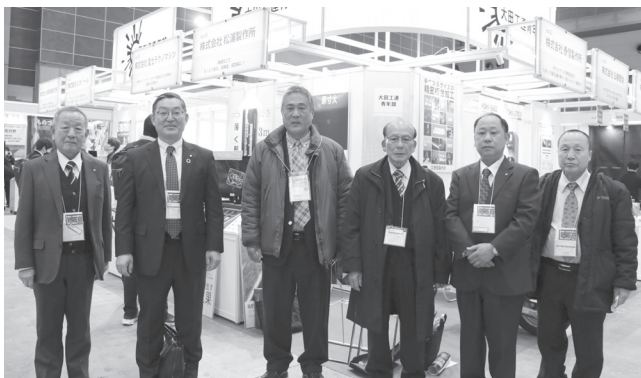
新たなスタイルで開催した Next おおた工業フェア

2023年2月1日から3日、東京ビッグサイトでMeet New Solution in OTA (Next おおた工業フェア)が開催された。大田区、(公)大田区産業振興協会の主催で、(社)大田工業連合会(以下、当会)が共催。例年、おおた工業フェアを開催している大田区産業プラザ(PiO)の大展示ホールが改修工事のため利用休止となっていたこともあり、今回は大田区を飛び出し、省エネルギーの総合展示会「ENEX」内に大きなフェアスペースを設ける「フェアインフェア」の形式で実施した。大田区内の選りすぐりの中小企業が出展し、自社の技術や製品をアピール。当会青年部連絡協議会からは7社が共同出展した。

当会青年部連絡協議会のエリアには、(株)エポゾール、(株)極東精機製作所、(株)弘機商会、(株)秦信製作所、(株)富士テクノマシン、(株)松浦製作所、(株)渡辺精機の7社がブースを並べた。極東精機製作所は、旋盤やマシニングセンタで加工したサンプルのほか、通常の10倍の速さで高速造形する樹脂3Dプリンター「G-zero」を紹介。弘機商会は自社商品であるスピンのカシメ装置を展示。一般的なプレス式のカシメ機に比べ、8分の1の少ない力でカシメることができる。同社の酒井麻梨子さんは「カシメ作業は職人の勘に頼ることが多いが、当社装置を使えば数値制御により誰でも可能となる。加工後のトレースバリティーも容易だ」とPR。おおた工業フェアが東京ビッグサイトで開かれたことについては「これまでと違う、新しいお客様に興味を持って頂けた。新たな販路の拡大につなげていきたい」とコメントした。

そのほかエポゾールはディップ成型で加工したサンプルを、富士テクノマシンは薄くて長い加工技術を、渡辺精機は高精度な丸物加工品を、松浦製作所は得意の精密加工品を展示した。秦信製作所は、板金とハンドワークを組み合わせて製作した金属製の革靴を展示し、来場者の耳目を集めた。

最終日の3日には、当会と



視察に訪れた桐生機械工業連合会
(右から三番目が上野会長、四番目は当会の広瀬会長)

事業継続計画(BCP)強化で連携している桐生機械工業連合会の幹部が視察に訪れた。若い頃、JR蒲田駅にある日本工学院専門学校で学んだという上野文雄会長は、大田区が誇る町工場の技術・製品を興味深く眺め「やはり大田区の技術レベルは高い」と称賛した。桐生機械工業連合会と当会は、BCPに関する連携に留まらず様々な場面で協力してきたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、コミュニケーションの機会が減っていた。共に就任1年という広瀬安宏会長と上野会長は、新型コロナが終焉に向かい始めたなか、改めて両者の連携を深めていくことで一致。Next おおた工業フェアは、大田区の町工場との絆を結びつける場となった。

青年部出展Nextおおた工業フェア開催 広瀬会長、会場で桐生機械工業連合会と交流

【大田区優工場 新製品・新技術コンクール】

表彰事業で受賞された企業をご紹介します。
受賞企業の皆様、おめでとうございます。

令和4年度 大田区優工場 受賞企業

- 《総合部門賞》
- ・株式会社 品川測器製作所
- 《人に優しい部門賞》
- ・昭光機器工業 株式会社
- 《まちに優しい部門賞》
- ・株式会社 新興化学
- 《認定工場》
- ・アロニクス 株式会社
- ・協和工業 株式会社
- ・株式会社 コトブキ
- ・シナノ産業 株式会社
- ・株式会社 志村精機製作所
- ・株式会社 城南
- ・日新電気 株式会社

第34回 大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 入賞製品・技術

- 《最優秀賞》
- ・独立電源式大型動物の屋外自動給餌装置 (テック大洋工業 株式会社)
- 《優秀賞》
- ・サーフェス形状探索システム「ORIFACE(オリフェス)」(株式会社 OUTSENSE)
- ・FFF 式 3D プリンター「G-ZERO」(株式会社 グーテンベルク)
- 《奨励賞》
- ・カメラカウンターシステム (株式会社 瀧口製作所)
- ・廃PETボトルの新たな活用法「ボトリウム・ナノファイバー」(関西電子 株式会社)
- 《おおた ECO 推進賞》
- ・AIフィルム(炭素繊維-方向性シート状フィルム)(デザインアンドイノベーション 株式会社)
- 《おおた秀逸技能賞》
- ・クーラント噴射装置「クールミスター」(有限会社 大野精機)
- 《おおたネットワーク賞》
- ・電波時計レピータ NAR-40P/NAR-40C (日本電波 株式会社)
- 《おおたスタートアップ応援賞》
- ・イヤホン型 Brain Computer Interface 技術「Ear Brain Interface」(株式会社 CyberneX)

小難しい話は
一切なし！

『低価格競争から抜け出す
ブランド戦略入門』セミナー開催



セミナー風景

ブランド戦略で会社を成長
大田工業連合会は2月7日、28日、大田区産業プラザ（PIO）で、『低価格競争から抜け出すブランド戦略入門』セミナーを開催した。講師はコンセーシージャパン(株)の金井啓社長が担当。同イベントの詳細をリポートする。

金井氏は、フランスの高級ブランド、ルイ・ヴィトンの元販売員という経歴を持つ経営コンサルタント。ルイ・ヴィトンジャパン時代には、販売コンテストで全国1位になった実績もあり、2007年に独立。現在は中小企業コンサルタントのほか、美容サロンも経営し、理論と実践を融合したハイブリッド型コンサルティングを提供している。

2月7日の初回講義では、ブランドとは何か？という説明からスタート。金井氏は「ビジネスの本質は誰かの役に立つこと（価値

提供）で利益を獲得する行動であり、ブランドは価値の高い商品・サービスを選択したいという消費者にとって、信頼の証となるものです」と始めた。LとVが組み合わさったルイ・ヴィトンのロゴにしても、消費者はロゴのデザインを気に入って商品を購入するわけではない。「商品のクオリティや店舗の立地、外観、内装、香り、ホームページやテレビCMの内容、スタッフの対応や身だしなみなどなど、全てへの信頼が蓄積されてロゴマークへの信頼＝ブランドになっている」と説明した。

ブランドは本当に重要なのか。金井氏は「ブランド力と株主価値、売上高営業利益率には正の相関があるという研究があります」と説明。高級寿司店・銀座久兵衛と普通のお寿司屋、同じ価格なら食べたいのはどちら？など、分かりやすい例を使い解説した。「ブランドがあれば、顧客から選ばれ、高

くても買ってもらえます。採用にも有利だし離職も防止でき、社員のモチベーションとパフォーマンスも上がります」

金井氏の説明により、ブランドの重要性は伝わったが、大田区の町工場の多くは中小企業でありB to Bビジネスが多い。ブランド構築に割けるリソースは決して多くない。しかし金井氏は「個人の知恵やアイデアには限度がある。人と話をする事で良い知恵が生まれる。ブランド構築する上で、一人だけ、社内だけで取り組むのはお薦めしない。コストはかかるが、外部と協力して構築することが必要です」と述べた。

2月28日の講義では、ブランド構築について具体的な方法が示された。ブランドコンセプトを確立するには、消費者が気付いていない需要（アンメットニーズ）と自社の強みを掛け合わせることが重要。「自分が一番になれる領域でないとブランドは構築できません。第一に想起される存在にならないと購買につながらないのです」と金井氏。アンメットニーズを探る方法として、顧客分析や他業種、海外の先進事例を参考にする方法などが示された。

自社のブランドコンセプトを設定するには設定した市場においてセグメンテーションとポジショニングを行い、自社の立ち位置を細分化していく手法が有効、と語る金井氏。「自社がナンバーワンになれるポジションが見つかるまで市場を切り分けることが重要。注意していただきたいのは年齢や性別で市場を切り分けられないことです」

社内ブランディングの重要性も強調した。金井氏が所属してい

人権研修を支援します

「人権」とは、すべての人が尊厳を持って平等に、幸せに生きる権利で、誰もが生まれながらに持っています。

企業においても人権を尊重し、持続可能な経済社会の実現と企業の成長、人々の幸福を目指すため何ができるか考え、実践することが求められています。

国は、ビジネスと人権に関する関係省庁連絡会議において2022年9月には、「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」をまとめました。人権尊重社会を促進するため、国連指導原則などの国際スタンダードを踏まえ、企業に求められる人権尊重の取組について、日本で事業活動を行う企業の実態に即して、わかりやすく解説しています。

区では、人権啓発冊子の配布や、人権啓発パネル展の実施等を行っています。

また、人権への理解を深める研修のためにDVDの貸し出し等も行っております。お気軽にお申し出ください。

大田区総務部人権・男女平等推進課
電話 5744-1148
FAX 5744-1556

たルイ・ヴィトンでは、入社時に2カ月にわたる宿泊研修で会社の歴史や使命を教育。その後も現場でのトレーニングや目標管理を通じて、ブランドを社員に注入していく過程を公開した。「社内にブランドを浸透させるため、教育研修は自社で行った方が良い。外部講師が必要な場合もあるが、基本的な教育を社内で行わないと組織が弱くなってくる」と語った。

講義ありワークありのセミ

ナーを終えた後、参加者同士が「自社のブランドをどう構築するか」意見を交わし合う姿が見られた。「大田区の町工場」は確固たるブランドになっているが、1社1社の知名度は高いとは言えず、各社のブランドはまだ確立していない。今回のセミナーを踏まえて各社のブランドが育てば、その集合体である「大田区の町工場」のブランドはより輝く。そんなことを考えさせられた2日間だった。



金井講師

人に教えたくなる数字の話題 対話形式の「会計」勉強会、開催

大田工業連合会は2月17日、大田区産業プラザ（P i O）1階A会議室で「人に教えたくなる数字の話題」『会計』を中心に幅広く楽しく学べます」と題した対話形式の勉強会を開催した。エヌケーパートナー税理士事務所、エヌケーブレインコンサルティング(株)取締役副部長の長谷川俊彦氏が講師を務め、9名が参加。長谷川先生と参加者の質疑応答では時折笑い声も起こり、勉強会は終始和やかな雰囲気で行った。

最初のテーマは、10月1日から始まる消費税インボイス制度について。従来は年間売上高1000万円以下の個人事業者は、消費税の納付が免除されていた。10月1日からは、個人事業主にはインボイス（適格請求書）の発行や保存が義務づけられ、消費税の申告が必要となる。長谷川先生は「インボイス登録しなくてもすぐに大企業から取引を打ち切られることはないと思うが、新規の取引にはインボイスの登録が必要となるだろう。インボイス登録しない事業者はどんどん販路が狭まっていく」と分析した。

次なる話題は事業承継税制の特例措置と贈与税の生前贈与加算について。事業承継税制の特例措置については、10年間限定で設けられたもので、従来的一般措置よりも対象株数や雇用確保要件などについて利便性が高く活用しやすい制度となった。一定の要件・手続きにより、非上場会社の株式等に係る贈与税・相続税について猶予・免除される。贈与税については、従来は相続開始3年前の贈与が相続税の対象となっていたが、2024年1月からは遡る期間が7年間に延長される。これまで相続税が取られな



対話形式で行われた「会計」勉強会

かった贈与も対象になるため、事業承継を考える企業にとって重要だ。

最後は、数字に強くなるコツとして、クイズのような問題が出された。「あなたは1万円を渡されて、Aさんと分け合うように言われました。どう配分するかはあなたの自由ですが、Aさんは金額が不服だったときに拒否する権利があります。拒否権が行使されると1万円は没収され、あなたもAさんも1円も手に入りません。あなたはAさんにいくら渡しそうですか」。この問題について、「半分の5000円かな」「ちょっと多く上げたらAさんは断らないから5001円」などと回答する参加者たち。先生の回答はなんと「1円渡す」。「拒否権を使うとAさんは1円も貰えません。例えば1円でも貰えるのはAさんにとって得なのです」

2022年度のサイバーセキュリティ動向を総括すると、企業や組織の事業活動を脅かす事例が数多く発生した1年間でした。特に、「ランサムウェア」と呼ばれるコンピュータウイルスが猛威を振るっており、全国の警察に寄せられたランサムウェア被害は前年と比べて1.5倍以上に増加しました。ランサムウェアに感染すると、パソコンに保存しているデータ（ファイル）を破壊し使えなくしてしまうばかりか、「元に戻してほしければお金を払え」と身代金を要求されることもあります。非常に悪質なウイルスです。

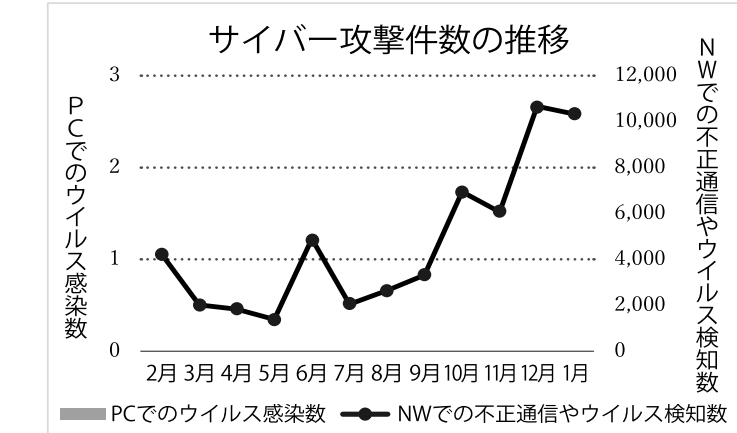
ランサムウェアの被害は、業種や企業規模を問わずに発生しています。昨年はトヨタ自動車(株)の関連企業である(株)デンソーや小島プレス工業(株)が感染し、トヨタの全工場操業停止にまで至りました。また、11月のおおたこうれん新聞に掲載した大阪急性期・総合医療センターのサイバー攻撃もランサムウェアによるものです。電子カルテが使えなくなり、外来診療や手術の停止に追い込まれ、復旧に2ヶ月以上も要しました。

ランサムウェアに感染したことを想像してみてください。「工場が停止してしまったら」、もしくは「復旧に2ヶ月以上もかかってしまったら」、皆様の事業に与える影響は計り知れないものになります。サイバースクリビジネスリスクであることを認識いただき、「サイバー攻撃を防ぐための対策（事前対策）」と、「被害を最小化するための対策（事後対策）」の両面での対策を実施することを推奨します。

お金をかけずにできる事前対策としては、「パソコンやネットワーク機器を最新の状態に保つ（パッチを適用する）」というのが非常に重要です。多くのウイルスはパッチが適用されていないシステム上の弱点を悪用するため、パッチ適用だけで約8割のウイルス感染を防ぐことができると言われます。事後対策としては、「重要データは別の場所にコピー（バックアップ）」しておきましょう。ランサムウェアによってバックアップ先のファイルまで破壊されることを防ぐために、バックアップするときだけ接続する外付けディスクに保存することをお勧めいたします。

お金をかけるのであれば、事前対策と事後対策の両面をカバーする「サイバースキュリティお助け隊サービス」があります。経済産業省が中小企業向けに推奨しているお助け隊は、セキュリティ監視の他、万が一感

ランサムウェアの被害、前年比1.5倍に増加



※期間内のPCでのウイルス感染なし
※サイバーセキュリティお助け隊サービス
<https://www.ipa.go.jp/security/otasuketai-pr/>

新春講演会・賀詞交歓会

コロナを乗り越え、対面で交流

ジャーナリスト大高美貴氏 登壇



三団体賀詞交歓会風景

2023年1月、新春を祝い大田工業連合会(当会)の関連する賀詞交歓会が相次ぎ開かれた。1月11日には当会、東京商工会議所大田支部、大田区商店街連合会による新年賀詞交歓会が、19日には当会所属の4団体による新春講演会・賀詞交歓会が開催された。どちらも多くの会員企業が集まり2023年のスタートを祝った。特に4団体賀詞交歓会は懇親会もあり、参加者は久しぶりのリアルな対面を楽しんだ。

1月19日には、当会所属の4団体(蒲田工業協会および経営研究会、大森工場協会およびYMKクラブ、工和会協同組合および工和成年会、蒲田工業協同組合および木鶏会)による新春講演会および新春賀詞交歓会が執り行われた。会場はこちらもP i O 4階コンベンションホール。ジャーナリストの大高未貴氏が「日本のメディアが伝えない国際情勢・生の情報から考える経営判断」と題し講演した。

日本政府が2050年に完全なカーボンニュートラルの実現を目標に定めていることについて大高氏は「国連の誤った二酸化炭素(CO₂)排出量のデータを元に政府が動いている。元々CO₂の排出量が少ない日本が貧乏くじを引き、最も排出量が多い中国が得をする流れ。利権が絡んだ脱炭素政策によって日本の屋台骨である製造業が圧迫を受けている」と主張。日本の基幹産業である自動車産業について「トヨタは環境問題に資するハイブリッド車や水素エンジンなどを開発しているが、日本が世界において自動車で覇権を握るのを封じ込めたい中国や欧州は電気自動車(EV)を推進している」と力説した。

終盤は、日本人の平和な精神性が今また注目され始めていると説明。「製造業はもっと力を持って頑張らなくてはいけない。同時に精神文明について誇りを持ち、祖国再建を進めていくタイミングだ」と講演を締めた。



4団体賀詞交歓会で講演する大高氏

講演会の後は懇親会を開き、参加者が食事を交えながら賑やかに歓談した。当会の広瀬安宏会長は「去年は新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、いまだに皆さんもマスクをしている状況だが、今日は飲食を伴う会ができて喜びを感じている。ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー高騰なども我々に深刻な影響を与えている。長い歴史の中でバブル崩壊なども乗り越ってきた。今起こっていることも乗り越えていけると信じている」と開会の挨拶をした。

松原忠義区長は「製造業の集積を維持しながら、他の地域との連携や国内外の商取引も仕掛けていきたい。現在、東急電鉄の蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ蒲線線の整備や周辺のまちづくりにも取り組んでおり、大田区はこれから発展していく街。こういう時代だからこそ先の夢を持つことが大事。今年も皆様と手を携えながら頑張っていきたい」と呼びかけた。

大田工業連合会 2023年度スケジュール

- 4月

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(1回目)

4月8日(土)、15日(土)、22日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30
- 5月

■新入社員セミナー

5月10日(水)、11日(木)、12日(金)(平日3日間) 9:30~16:30

■NCプログラミング初級講座

5月13日(土)、20日(土)、27日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●理事会 5月下旬
- 6月

■CAD製図初級講座(Auto CAD2023)(1回目)

6月3日(土)、10日(土)、17日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●大田工連定時総会 6月2日(金)
- 8月

■第1回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」8月4日(金) 9:30~16:30

■第2回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」8月下旬開催予定

■夏休み親子ロボット作り教室 8月26日(土)、27日(日)(2日間) 9:30~16:30
- 9月

■やさしい図面の見方講座(城南職業能力開発センター大田校開催)

9月16日(土)、23日(土)(毎土曜日2日間) 9:15~16:30

■秋のロボットセミナー 10月中開催予定
- 10月

■CAD製図初級講座(Auto CAD 2023)(2回目)

10月14日(土)、21日(土)、28日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●理事会 10月中開催予定

●優良従業員表彰
- 11月

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(2回目)

11月11日(土)、11月18日(土)、25日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

■ロボットプログラミング教室 11月中開催予定

■新入社員セミナーフォローアップ研修 11月17日(金) 13:00~17:00
- 2024年

1月

■3団体(※)賀詞交歓会 1月中開催予定

(※)東京商工会議所大田支部・大田区商店街連合会・大田工業連合会
- 2月

■やさしい図面の見方講座(日本工学院での開催)2月中開催予定(平日夜間5日間)

■次世代経営者育成セミナー 2月中開催予定

※その他セミナーについては、日程が決まり次第ご案内させていただきます。